

## 目標達成計画

事業所名: ㈱健康会 グループホームえべつ

作成日: 令和 3年 3月 29日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	I-13	介護歴の長い職員が多く、介護職3年未満の職員も数名在籍している。 日々の介護の中で目まぐるしく業務にあたっている現状があり、基本を振り返る機会が少ない。 初心に帰り、認知症や身体介助を学び、入居者様の安心安全に繋げたい。	・認知症を理解し、穏やかに入居者様に接する。 ・入居者様・職員、双方にとって安全な介助を身につける。	毎月のカンファレンスで、職各々が認知症について調べたことを発表し、事例に照らし合わせ考える時間を持つ。 法人内の訪問看護師・理学療法士からの指導をもとに、身体介助、ポジショニングについて学ぶ機会を定期的に作る。	1年
2	III-25~28 IV-37~55	ケアプラン作成の流れや意味合いの理解が浅い。 ケアプラン内容を理解した上での介護提供になっていない。 実行した支援の記録が、介護者の業務日誌になりがち。 記録をもとにご家族・職員・関係業種と情報共有し、より良い自立支援につなげたい。	・記録の充実を図る。(なぜこのプランが必要か、何を指すのかを理解し、支援提供時どうだったか、その後どうなったかなど、様子が見える記録に努める) ・情報共有がスムーズに行える。	ケアプラン更新時、ケア担当者からのモニタリング報告で状況の共有を図り、計画作成からのケアプラン内容説明で理解を深める。 ミニカンファ・申し送り等で、どこが記録不備なのかを指摘しあう。	1年
3	III-35	訓練は定期的を実施しているが、訓練の『なぜ?』や避難場所、物品の保管に関し、全員が把握しているとは言えない。 職員全員が災害時に自ら考え行動できる体制を構築したい。	災害時、慌てずに行動し入居者様を避難誘導できる。 各々の役割を理解する。	災害時ミーティングの定期的な開催。 定期的に避難誘導訓練の実施。 避難誘導介助方法を実践し身につける。 職員各々、物品保管場所を3か月ごとに確認する。	1年
4					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。  
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。